

1 校務DXで目指す姿

本校を含む吉田町内の学校は「文科省リーディングDXスクール指定校」に指定されている。GIGA端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェア（本町ではChromebook及びGoogle Workspace for Education）とクラウド環境を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や校務DXに取り組んでいる。校務でのクラウド活用には、大きく2つの意義があると考えられる。

- ① 校務改善によって生み出された時間を、子供たちのために費やすことができる。
- ② 子供たちの学びと教職員の研修を相似形と捉え、授業で使う汎用的なソフトウェアとクラウド環境を校務でも活用することで、その仕組みに慣れ、研修の日常化を図ることができる。

特に①については、例え1日1分の効率化であっても、その積み重ねが結果的に多くの時間を生み出すことになり、教職員が本来業務に専念できる環境の整備に繋がると考えている。

2 取組内容

(1) Google Chat を軸にした校務の効率化

保護者からの欠席等の連絡はGoogleフォームで集約しているが、受付終了後に電話連絡が入ることも多い。そこで、事務職員は遅刻等の連絡を随時Google Chatに書き込むようにした。養護教諭は来室状況や早退の情報を記入し、教室で内容を確認した担任がリアクションを返すようにした。チャットを活用することで、子供たちの安全に関わる情報を即時共有できるようになった。

また、分掌や行事ごとに細分化したスペースを作成した。検討したいテーマを事前に打ち込んでおくことができ、学年会や分掌部会などで効率的に話し合えるようになっていた。非同期（送信側と受信側のタイミングの一致を気にせずやりとりを行うこと）で連絡・調整することにより、対面で協議するときの議論が円滑かつ活発に行うことができるようになった。

(2) Google サイトでの情報集約による効率化

必要な情報がいつでも手に入るように、Googleサイトを活用して校内の「ポータルサイト」を作成した。サイトのホームには、月計画や週報、連絡掲示板など、日常の業務で参照する機会が多い情報を掲載した。サイトは職員の意見を反映して改善され続け、常に未完成である。完璧なものを作る必要はなく、むしろ、過程を共有することが協働的な風土の醸成に繋がると考え、運用している。

(3) クラウド環境をフル活用した校務改善

チャットやサイトなどの活用が進むと、教職員がそれぞれの分掌で創意工夫をこらし、校務改善を進めていった。体育主任は、運動会専用のチャットスペースを作成し、関係文書をクラウドにアップロードした。役割分担一覧を表示したシートには、進捗状況をプルダウンで選択する欄を設けた。これにより、参集しなくても各担当の進み具合がリアルタイムで可視化できるようになった。

就学時健康診断において、養護教諭は各健診会場の様子や学校医の動きを把握するためのシートを作成した。当日は、養護教諭や教務主任は各会場の担当職員が入力した内容が即時反映されるシートを見ながら、必要に応じてチャットで指示を出した。クラウドを活用することで、その場にながら全体の動きを把握できるようになった。

(4) 校務で身に付けたスキルやアイデアを活かした授業改善

全職員で校務DXに取り組み、その仕組みや利便性を実感したことで、汎用的なソフトウェアとクラウド環境を活用した授業改善が進んでいる。教員は子供たち一人一人の学びの進捗状況をクラウドも使いながら確認し、机間支援を行っている。また、授業でチャットを活用することで、子供たちの考えが可視化され、それを見て返信したり直接話しかけたりするなど、自然な対話や協働が生まれるようになった。このように、校務DXをベースにしながら授業改善を進めることで、働き方の改善を伴ったGIGAスクール構想の実現を目指し、取組を進めている。

3 成果

- ・学校評価（教職員）「仕事の効率化・校務DXに努めている」
 - R5前期・・・A：19% B：69% C：12% D：0% （肯定回答88%）
 - R6前期・・・A：25% B：71% C：4% D：0% （肯定回答96% 前年比+8%）
- ・学校評価（教職員）「専門性を磨き、自分の成長を実感している」
 - R5前期・・・A：8% B：85% C：8% D：0% （肯定回答92%）
 - R6前期・・・A：29% B：63% C：8% D：0% （肯定回答92% Aの前年比+21%）
- ・時間外在校等時間の推移と変化
 - R3・・・月平均：47.42h 日平均：2.41h
 - R4・・・月平均：39.75h 日平均：2.01h
 - R5・・・月平均：32.58h 日平均：1.67h （2年間で月平均14.84h・日平均0.74h減少）